発行所 かしわら見張り番

代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782

The Kashiwara Mihariban
かしわら見張り番
2010 12 no.16

中司氏辞任、市長も辞任せよ

「市長の犯罪」二審も有罪

岡本市長 責任認めず開き直り

「市長の犯罪」として一審で有罪判決を受けながら、岡本市長の独断で柏原市「戦略会議」座長に就任した中司宏・前枚方市長が、二審でも有罪となり辞任した。十二月十三日、市議会本会議で、はまうら佳子議員は岡本市長の責任を追及したが、岡本市長は「自分には何の責任もない」と開き直った。

はまうら議員の質疑と岡本市長の答弁

はまうら議員（本会議 議事録より）：刑事被告人である中司氏採用は無駄な税金が使われました。もし二審も有罪なら、その責任をおとりになって市長もお辞めになる覚悟だと思っております。

岡本市長：あんたね。そんなん言われんかて、今、今日辞めますがな。うちの家内が今晩赤飯炊いてお祝いしてくれますわ。

はまうら佳子議員は、個人質問で、十一月八日に二審有罪となった中司・前枚方市長を独断で柏原市に採用した岡本市長の責任を追及した。

この問題に関しては、先の議会で「二審有罪だったら、市長は責任を取ってお辞めになるべき」と質した際に、岡本市長は次のように答弁している。

「あんたね、（中司被告は）あんたよりはよっぽど…（役に立っている）」中司氏は私が独断で連れてきたんですけれども、議会の承認を得ている（だから責任はない）」「もうほんまに、こんな馬鹿馬鹿しい話をするのんは辟易（へきえき）しておるんです」「そんなん言われんかて、今、今日辞めますがな。うちの家内が今晩赤飯炊いてお祝いしてくれますわ」

おおよそ本会議での市長の答弁とは思えない乱暴で品のない発言である。それでも、議会で「辞める」と言明した言葉の責任は重い。

発言に責任持ち 市長は辞任せよ

前議会でのはまうら議員の指摘通りに中司被告が二審も有罪になったため、はまうら議員は「辞める」と言った市長の発言に対して責任ある答弁を求めた。

それに対して岡本市長は、「それは言葉の取り違え」「不信任案が通ったら辞めるという意味だった」などと無責任な答弁に終始。中司被告を独断で採用した責任にも、本会議で「辞める」と発言した責任にも、一切誠実な答弁をせず「中司氏は無罪だと今も信じている」と開き直った。

批判議員は懲罰 市長の権力乱用

これまでも、市長の疑惑を追及してきたはまうら議員に、市長は多くの侮蔑的な言葉を吐いてきた。「もういっぺん小学校行けや」「ゴミ屋のおばはん」など枚挙にいとまがないが、何の処分も懲罰も受けていない。

一方、はまうら議員が、入札の不正疑惑を追及すると「議会の進行を妨げた」などと、あらぬ理由で議員資格停止処分まで受けた。

市長の権力乱用がまかり通る柏原議会は、市民の代表である議員の軽視であり、すなわち議員を選んだ市民の軽視に他ならない。〝盟友〟が辞任したのだから、市長も辞任すべきだ。

岡本市長の「辞める」発言はウソか、議会軽視の軽口か。いずれにせよその責任は取るべきだ

政治家の「言葉」はきわめて重い。

民主主義の世の中では、言葉によって自分の主張を人々に伝え、共感を多く得た者がリーダーとなるからだ。

もし、その言葉がウソであった場合、政治家生命はその瞬間に終わる。たとえ故意でなかったとしても、国民に誤解を与えた場合には相応の責任を取らなければならない。

政治家の言葉は重い

前法務大臣は、不用意な発言で「国会軽視」と糾弾され辞任した。政治家の言葉はそれほど重いのだ。

このような政治の常識からして、岡本市長の本会議での「今すぐ辞める」という発言の意味は重い。

刑事被告人を採用した責任を追及されて飛び出した言葉で、議事録にも記録されている。辞めるつもりもないのに「辞める」と言うのは、誤解を与える発言というよりウソに近い。

岡本市長は「辞める。ただし不信任案が通ったら」という意味だったと弁解しているが、おまえらには不信任など出せないだろう」という独裁者の奢りの言葉だったことになる。前法務大臣どころではない議会軽視だ。

「辞める」はウソだったのか議会軽視だったのか。いずれにせよ、政治家失格の言葉であることに違いない。

ところで、このやりとりを、にやにやしながら聞いていた議員がいた。この議員もまた、言葉の重みのわからない政治家失格議員と言える。

かしわら単語帳

いまの柏原を知るためのキーワードを毎回解説します。

しちょうのいす【市長の椅子】

資格が無い人ほど長く居座りたがるもの。

どこかの市長さん、大見栄を切って「辞める」と言ったものの、「少しでも長く居座りたい」というのが本音らしい。そりゃ、権力の座は何かとオイシイものですからね。

【刑事被告人の採用問題】 これまで岡本市長は、刑事被告人である中司・前枚方市長を採用したことの非を追及されると、「彼は有能な人材だ。片山総務相や北川元三重県知事をはじめ中央政界にもルートがある」などと持ち上げた。また「刑が確定していない以上、推定無罪だ」として被告人採用を正当化した。

確かに法律上、現在は「推定無罪」だ。しかし過去にいくらルートがあったとしても、中央政界も官僚も普通は刑事被告人と交流などしない。柏原市が中司被告を採用した時、一般紙が「前代未聞」と書き立てたようにスキャンダルになりかねないからだ。ある中央官庁の官僚は、本紙の取材に対して「刑事被告人など相手にするはずがない」と切り捨て、柏原市の中司被告採用にあきれていた。

memo

それにもかかわらず岡本市長が、市民の税金を使ってまで中司被告をあえて採用した背後には、何らかの利害関係があると疑われても仕方がない。